



国土交通省
信濃川河川事務所

教訓を伝えて活かす まちづくり



防災・減災
新潟プロジェクト
2014

記者発表資料

平成26年 8月22日

本資料の発表をもって解禁

万代長嶺小学校6年生が大河津分水の現場学習を実施します ～治水の歴史と大河津分水を学ぶ～

新潟市立万代長嶺小学校の6年生が、信濃川大河津資料館や大河津分水の施設等を訪れて、信濃川の洪水や治水の歴史、大河津分水の役割について学習します。

同校6年生は、平成22年度から「信濃川を学ぶキッズリバーガイド」という、信濃川と萬代橋のことを学び、その成果をもとに地域の方々にガイドをする取り組みを行うなど積極的な学習活動を続けています。

かつて信濃川は、大きな洪水のたびに堤防が破れ、水害をおこしてきました。大河津分水ができる前、水害の頻度は3～4年に1回でした。「この水害をなくしたい」という大勢の人たちの強い願いにより、洪水を直接日本海へ流す大河津分水がつくられました。

事前学習会では、当事務所職員による信濃川と越後平野の成り立ち及び大河津分水の役割についての説明を聞き、現場学習会では、実際に大河津分水の施設や「横田切れ」と呼ばれる洪水による痕跡が残る宝光院を見学します。

■事前学習会

日時：平成26年8月28日(木) 10時00分～11時20分

場所：万代長嶺小学校 多目的室

■現場学習会

日時：平成26年9月5日(金) 9時30分～15時00分(予定)

場所：大河津分水可動堰など

9：30頃 「信濃川大河津資料館」

10：35頃 「旧可動堰」

11：00頃 「新可動堰」

11：20頃 「魚道観察室」

12：15頃 「第二床固」

14：05頃 新潟市西区榎尾「宝光院」(M29年横田切れによる痕跡が残る)

※行程は変更となる可能性がありますので、取材される場合は問い合わせ先までご連絡下さい。

■参加人員

6年生 児童 66名

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 小林 正夫
電話：0258-32-3020(内線406)

新潟市立万代長嶺小学校
6年生担任 田村 克夫
電話：025-245-4488

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
長岡市記者会
長岡地域記者会
三条市記者室
十日町記者クラブ
建設業界向け専門紙